

”レスポンシブなデザイン” のアドビ HTML5/CSS3 特設サイト 制作者インタビュー

アドビの HTML5/CSS3 特設サイト (<http://adobe-html5.jp/> (www.adobe.com/http://adobe-html5.jp/)) の制作を担当した、面白法人カヤックの比留間さんに、”レスポンシブなデザイン” についてお話を伺いました。初めてこのようなサイトに関わったということで、苦労した点や工夫した点など、マークアップエンジニアの立場から製作中の様子を具体的に聞くことができました。

比留間さんは、意匠部 ME課 (メカ) 所属。CSS Nite LP9 連動企画 第 2 回コーディングコンテストで Web Site Expert 賞を受賞。(優秀賞) 個人活動としては、「CSS-EBLOG」を運営中。主に CSS と JavaScript の Tips について配信している。共著で、「プロならば知っておくべき Web コーディング & デザインの定石 100 [単行本]」を執筆。<http://amzn.to/cpBj1c> (www.adobe.com/http://amzn.to/cpBj1c)

Dreamweaver CS5

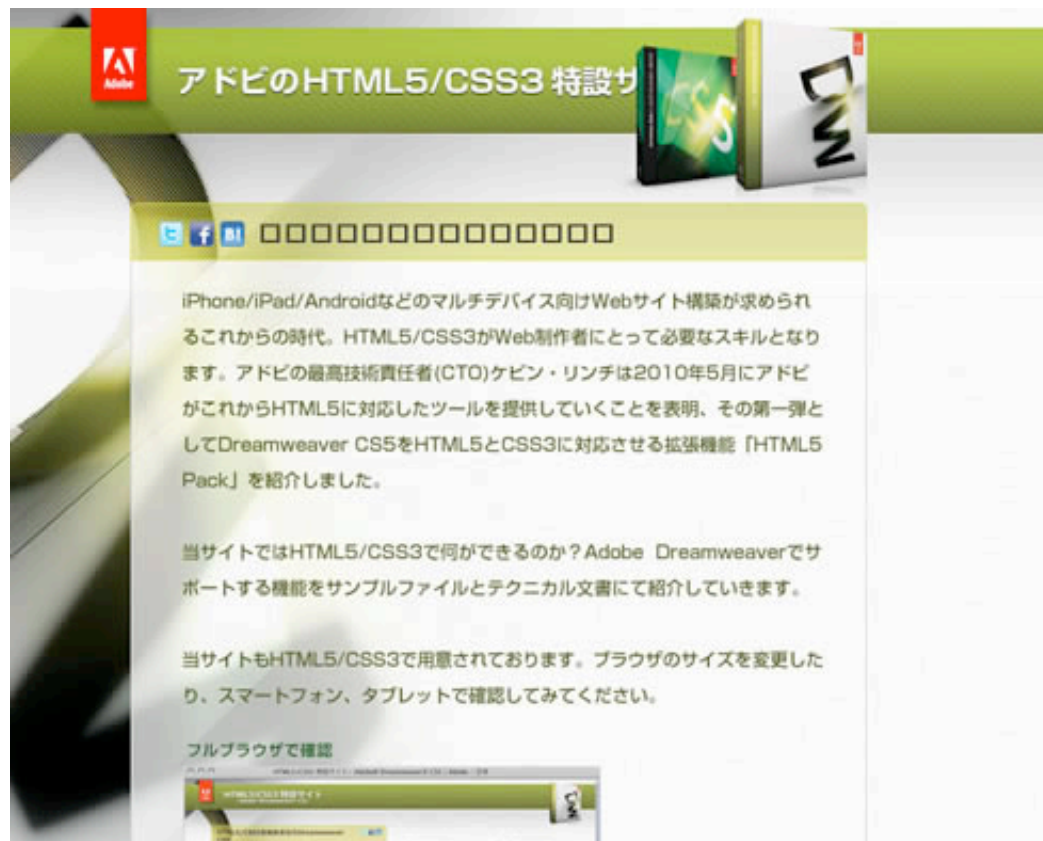
体験版 (www.adobe.com/go/trydreamweaver_jp) 今すぐ購入 (www.adobe.com/go/buydreamweaver)

最初に話を聞いた時はどんな印象でしたか？

「今回のような、動的に変わるカラムレイアウトは初だったので、とても面白そうだなと思う反面、タイトな時間の中で構築できるかという不安もありました。実際にメディアクエリーを利用したリキッドデザインのサイトを見て (<http://hicksdesign.co.uk/> (www.adobe.com/http://hicksdesign.co.uk/))、ブラウザの大きさに応じてレイアウトが変更される際の動きは大変そうだなと思いました。あとは HTML の構造化でしょうか。やはり、構造化があった上での CSS デザインだと思うので、そのあたりをしっかりと構築できるか、という点が大変そうだなと思いました。」

最初に出てきたビジュアルデザインを変更したそうですが、その理由を教えてください

「ブラウザのウィンドウ幅があるサイズ以下になった際に、1 カラムのデザインになるのですが、その 1 カラムになった際のデザインが、4 カラムの時の構造を維持したままでは実現できないデザインでした。厳密にはまったく実現できないわけではなかったと思いますが、文字サイズや複数の閲覧環境を考慮すると、CSS の実装が現実的ではなくなってしまうと思ったので、やむなくデザイン側を修正してもらいました」



iPadをはじめとするタブレットで確認



iPhone,Androidスマートフォンで確認



HTML5/CSS3って何?

HTML5/CSS3 は World Wide Web Consortium (W3C) が現在予定中の次世代 Webを実現するための仕様です。文書の構造化を強化するタグ、動的なページ作成を容易にする API、ビデオ、グラフィックスの表示機能、モバイルデバイス向けの拡張など、新バージョンから大きく標準としての選上げが行われています。既に主要なブラウザの最新バージョンでは HTML5 のサポートが始まっており、iPhone / Android などのスマートフォンでは特に HTML5 対応が進んでいます。

もっと詳しくみてみよう



- HTML5/CSS3とは?
- 調べてみよう！HTML5(連載記事)

Dreamweaver CS5のHTMLバック詳細、実用例、スマートフォン・タブレット向け技術としてのHTML5の現在などの有用情報が豊富なAdobe Developer Connection(ADC)もあわせてご利用ください。



【連載記事】

HTML5&CSS3入門 with HTML5(バック)第1回 HTML5のベースと文書マークアップ
小山田英治氏(2010年8月27日)



【技術動向】

スマートフォン・タブレット向け技術としてのHTML5の現在
上原英宏氏(2010年8月27日)



【関連情報】

iPhone向けサイト制作ノウハウを拡張機能「iPhone site extension for Dreamweaver CS4/5」
たにくち まこと氏(2010年6月30日)

Dreamweaverでレッツトライ!

当サイトがどのような構造になっているのか、Dreamweaver CS5を利用して確認しませんか?新HTML5バックを利用するとメディアクエリの切り替えと、HTML5/CSS3コードヒントリングが利用可能です。HTML5/CSS3時代のヒーロー/ヒロインを目指そう。

↓ サンプルファイルzip

↓ Dreamweaver CS5 体験版

ボツになったデザイン案からの抜粋。div タグの構造と1カラム時の表示位置の上下の関係が逆になっていた。

「デザイン変更をお願いした一番の理由は、構造上、上下の順序が逆になっていたことです。HTML内の領域を配置する際、左右の入れ替えなどはCSSである程度制御可能ですが、現状では上下を入れ替える手段はごく限定的です。今回のよ

うに、テキストレイアウトが可変である状態での上下の順序の入れ替えは、現時点の CSS では提供されていません。そういう意味では、CSS はまだ発展の可能性のあるなあということも同時に感じました」

実際にコードを書いてみて引っかけた点はありましたか？

「はい。CSS3 を使えば問題なく構築できることに対して、レガシーな実装をしてしまう、ということが何回もありました。ついつい、IE 対策など、通常のサイト制作と同じ手法でコーディングしてしまって。そのことに途中で気付いてコードを書きなおす、ということがしばしばでした」

「例えば、リキッドレイアウトということで幅を%指定しなければいけなかったのですが、padding の設定を追加したりすると、通常のボックスモデルでは幅が思ったように設定できません。なんとか近い表示になるようにと数字を調整したり試行錯誤していたんですが、やはりウィンドウを広げていくと誤差が出てしまって…。でもふと、box-sizing を使ってもいいことに気づいて。そしたら、すぐに問題が解決しました。知識としては持っていたのですが、CSS3 を普段使っていなかったなので、気づくのにかかりました」

```
/* 修正前のコード */

@media screen and (min-width: 1121px) and (max-width: 1329px) {
  /* 省略 */
  .subInfoBox {
    width: 40%;
    padding-right: 7%;
  }
}

@media screen and (min-width: 1330px) {
  .subInfoBox {
    float: left;
    width: 23%;
    padding-right: 7%;
  }
  /* 省略 */
}
```

```
/* 修正後のコード */

@media screen and (min-width: 1121px) and (max-width: 1329px) {
  /* 省略 */
  .subInfoBox {
    width: 50%;
    padding-right: 7%;
    -moz-box-sizing: border-box;
    -webkit-box-sizing: border-box;
    box-sizing: border-box;
  }
}

@media screen and (min-width: 1330px) {
  .subInfoBox {
    float: left;
    -moz-box-sizing: border-box;
    -webkit-box-sizing: border-box;
    box-sizing: border-box;
    width: 33%;
    padding-right: 7%;
  }
}
```

/* 省略 */



上の図は修正前、下の図は修正後。box-sizing 属性を使用することによって、padding と width との兼ね合いを意識せず、割り当てたいパーセンテージ（ソースでは 50%、33%）をそのまま指定。「あとはブラウザ側の自動計算に任せることでしっかりとしたリキッドレイアウトになりました」

「次に引っかけたのが画像の扱いでした。リキッドレイアウトで、かつカラム数も変わるため、ボタンに使った画像サイズよりもカラムの幅が小さくなってしまうことがあります。その場合どうしてもボタンがカラムからはみ出してしまいます。でも、カラムの縮小に合うように幅を 100% に指定してカラム幅いっぱいになると、今度はカラムの幅が大きくなったときに画像が引き伸ばされてしまうんです。そこでふと、max-width を指定したらいいことに気づきました。その際、max-width は、その画像自体に紐づくため、CSS ファイルで指定するよりは、style 属性として扱う方が適しているな、と思いインラ

インで記述しました。」

```
/* 書き加えたコード */
```

```
.siteInfo img {  
  width: 100%;  
  height: auto;  
}
```

```

```





上の図は修正前、下の図は修正後。img 要素に対して width:100% と縦横比を維持するための height:auto を指定しつつ、インラインで、max-width を使って画像の最大幅も合わせて指定。これにより、カラムが小さくなったときに、画像がカラム幅に追従して縮小するようになった

Dreamweaver® CS5 のマルチスクリーンプレビューは役に立ちましたか？

「マルチスクリーンプレビューを使う前は、メディアクエリーの修正の際、毎回該当するサイズまでブラウザのウィンドウを拡大したり縮小していました。それが、マルチスクリーンプレビューではウィンドウを開くだけで確認できるので、確認作業がとてもスムーズになりました。また、表示するウィンドウ幅を px 単位で指定できるので、より厳密な調査ができるようになったのもよかったです」



Dreamweaver CS5 のマルチスクリーンプレビュー。Dreamweaver からボタン 1 つで開くことができる。ピクセル単位で 3

種類の画面サイズを指定すると、それぞれに指定されたスタイルを適用した状態が同時に表示される

制作を終わっての感想、他の人に伝えたいことなど、もしあれば教えて下さい

「これからのコーダー、マークアップエンジニアの仕事の方向性が変わる可能性を感じました。いわゆるコーダーの人たちはいわば縁の下の力持ちのような存在で、頑張ってきたきれいなコードを書いても、一般の人にはなかなか気づいてもらえません。それが、今回のサイト制作で実感したのですが、人の目に触れるプレゼンテーションの分野にまで、マークアップエンジニアの対応範囲が広がるのではないかと、思いました。具体的には、メディアクエリーを用いたプレゼンテーションに対するアプローチや表現力、そして CSS3 を駆使したデザインの再現度などが、マークアップエンジニアにも求められるようになると思います。現状では、“Web デザイナー” という響きから想像される仕事は、Photoshop などを使ってデザインをする、というイメージが強いと思います。しかし、これからはコーダーやマークアップエンジニアも、広い意味での Web デザイナーとして、どんどんと前に出ていける面白い職能になるのではないかなと思います。コーダーやマークアップエンジニアを目指す人にはぜひ、それを伝えたいですね」

とても楽しい仕事だったと笑顔で語る比留間さん。HTML5 そしてマークアップエンジニアとしての新しい可能性を見つけたと、嬉しそうに話す様子が印象的でした。

著者について

上条 晃宏氏： アドビにて Flash プラットフォーム上のユーザー体験やアーキテクチャデザインのコンサルティングを担当、数多くの Flash / Flex プロジェクトに携わる。

Copyright © 2011 Adobe Systems Incorporated. All Rights Reserved* (www.adobe.com/go/gftray_foot_all_rights_reserved_jp) .

* 英文のみ